

令和6年度 放課後子ども教室運営委員会 会 議 録

日時 令和7年2月18日（火） 午前10時から

場所 清須市役所 北館2階 第1・2会議室

清 須 市 教 育 委 員 会

会議出席者

令和6年度清須市放課後子ども教室運営委員会会議録		
開催年月日	令和7年2月18日（火）	
開催場所	清須市役所北館2階第1・2会議室	
会議時間	午前10時00分～午前12時00分	
出席委員	小学校長代表	山本 由佳
	児童福祉担当	山田 眞己人
	保護者代表（西枇杷島地区）	竹島 華奈子
	保護者代表（古城地区）	大谷 由美
	保護者代表（清洲地区）	後藤 眞由美
	保護者代表（清洲東地区）	梶木 友理
	保護者代表（新川地区）	松村 美沙
	保護者代表（星の宮地区）	早川 ゆり
	保護者代表（桃栄地区）	蟹江 優里奈
	保護者代表（春日地区）	黒柳 綾
	西枇杷島放課後子ども教室指導員	伊藤 高善
	西枇杷島放課後子ども教室指導員	石原 正治
	古城放課後子ども教室指導員	伊藤 邦彦
	古城放課後子ども教室指導員	伊藤 泉三
	清洲放課後子ども教室指導員	太田 慎一
	清洲東放課後子ども教室指導員	加藤 仁
	新川放課後子ども教室指導員	水野 史雄
	星の宮放課後子ども教室指導員	大島 博
	桃栄放課後子ども教室指導員	吉田 雅彦
	春日放課後子ども教室指導員	白鳥 弘恵
出席者（市）	教育長	天埜 幸治
事務局	学校教育課長	瀬尾 光
	学校教育課課長補佐	小崎 充代
	学校教育課係長	嶋中 三奈
	学校教育課主事	伊藤 有咲
議 題	1 放課後子ども教室の現況について	
	2 令和7年度放課後子ども教室について	
	3 その他	
備 考	傍聴者 なし	

はじめに

瀬尾課長

おはようございます。定刻となりましたので、只今から令和6年度放課後子ども教室運営委員会を始めさせていただきます。皆様におかれましては、大変お忙しい中、当運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます学校教育課長の瀬尾と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本会議は、清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱の規定による公開会議となります。

それでは、開会にあたりまして天竺教育長よりご挨拶をさせていただきます。

教育長 あいさつ

天竺教育長

改めまして皆様、おはようございます。

大変ご多用の中、本委員会にご出席をいただきましてありがとうございます。また、日々の放課後子ども教室の運営につきましては、ご尽力をいただきまして重ねてお礼申し上げます。

昨年この会が大雪で大変だったなと思います。今日はちょっと暖かいです。多分駐車場ではちょっとご不便を少しおかけしたかなと思います。申し訳ございませんでした。

今日は、この1年での各教室のご報告、それから保護者の皆様のご意見、それから次年度に向けての課題、そういったことを事務局とともに意見交換をして、共有をしていくという場でございます。私としては、先生方、それからスタッフの皆様方へのお礼をこの機会に申し上げたいと思っております。毎年ではございますが、本当に日頃より先生方、スタッフの皆様方のきめ細やかな配慮、ご対応等、それから暖かいまなざしでいつも見守ってくださっていることに対して、本当に心から感謝を申し上げたいと思っております。

このあと各放課後子ども教室からのご報告もございますが、子供たちの活動内容の課題等も考慮していただいて、本年度のまとめ・総括をして参りたいと思います。

今後見据えたアンケートの結果についても今日出させていただきますので、いわゆる教育委員会としても、今後中長期的なスパンも踏まえた課題について考えていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。天埜教育長は、他の公務がありますので、ここで退席となります。

次に本日ご出席いただいています委員の皆さんの自己紹介ですが、名簿と配席表をもって代えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

議題

瀬尾課長

それでは、議題（１）の放課後子ども教室の現況について事務局から説明をさせていただきます。

伊藤主事

学校教育課の伊藤と申します。私から、放課後子ども教室の現況について説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

お手元の資料１をご覧ください。

現在、清須市では、令和元年度から市内すべての小学校にて、放課後の子どもたちの居場所づくりを確保することを目的として、余裕教室や体育館の部屋を使用して、小学校に通う１年生から３年生までの児童を対象に学習、軽スポーツ及び伝統的な遊戯などを行い、放課後子ども教室を実施運営しています。

放課後子ども教室は、平成２０年度に春日小学校で初めて開設されました。その後平成２１年度に新川小学校、平成２２年度に西枇杷島小学校及び清洲小学校、平成３０年度に古城小学校、令和元年度には清洲東小学校、星の宮小学校及び桃栄小学校で開設され、現在は市内全小学校で放課後子ども教室を実施しています。

続きまして、運営体制は、それぞれの教室において通常時、指導員（コーディネーター）１名と補助員２名の計３名体制で運営しています。参加人数が多い清洲東放課後子ども教室と春日放課後子ども教室は、指導員（コーディネーター）１名と補助員３名の計４名体制で、清洲放課後子ども教室は、指導員（コーディネーター）１名と補助員を７名の計８名体制で運営しています。一斉下校日・保護者懇談会等の行事の日には、参加者が多数になりますので、子どもの行動が目に行き届くよう補助員を増員して安全性を重点におき対応しております。

続きまして、本年度の利用登録者数は１月末現在で１０２１人です。平均利用者数は教室によって差があり、最小で１２人、最大で８３人です。

また、学校行事などの理由により１日の最大利用者数が１３８人になる教室もあります。そのような場合は、先ほども申し上げましたように、

各教室で補助員を増員するなどの対応をしていただいております。

続いて、裏面をご覧ください。各教室での事故による怪我等の状況ですが、12月末現在で、怪我で傷害保険を利用した利用者は5件ありました。

内訳としては、清洲放課後子ども教室で1件、清洲東放課後子ども教室で1件、春日放課後子ども教室で3件でございました。そのうちボール遊び中のけがが4件、鬼ごっこ中のけがが1件で、主なけがの内容といたしましては、ボールでの突き指、転倒したことによる手足の骨折などです。今年度は特にボール遊び中のけがが多い傾向にありました。指導員の皆様におかれましては、お忙しい中ではございますが、引き続き子どもたちの安全にご配慮いただきますようよろしくお願い申し上げます。

続きまして、放課後児童クラブとの連携についてです。国から示されている放課後児童対策パッケージの一環として、児童館で実施している放課後児童クラブと連携した事業を実施してまいりました。昨年度までは新型コロナウイルス感染症の影響で放課後児童クラブとの連携事業は行われていませんでしたが、今年度からはコロナ禍以前と同様に、清洲東放課後子ども教室でトルネードリング作り、新川放課後子ども教室でドッジボール大会といった放課後児童クラブとの交流活動が行われています。

最後になりますが、各教室の指導員の皆様におかれましては、外部のボランティアの方を招いての読み聞かせや工作などの活動、また七夕の笹飾り作りやハロウィンお楽しみ会、クリスマス会などの季節行事にちなんだイベントなど、子どもたちが毎日楽しく放課後子ども教室に通えるように工夫をこらし、一所懸命に放課後子ども教室の運営に取り組んでいただきましてありがとうございます。

今後とも引き続き子どもたちの安全を第一にご指導よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

瀬尾課長

只今、事務局から実施状況の報告をさせていただきました。

続きまして、各コーディネーターの先生より、それぞれの教室の実施状況のご報告をいただきます。

まず、西枇杷島放課後子ども教室の伊藤先生からお願いします。

西枇杷島放課後子ども教室で指導員をしております、伊藤高善と申します。よろしくお願いいたします。

資料をご覧くださいまして、表紙には講師の方をお招きして行いましたフラワーアレンジメントの写真が載っています。その右側に工作の写真が載っています。それから右側の方にいきまして、ボランティアの方をお招きした絵本の読み聞かせの様子を載せています。左下の方には、さわやかプラザで行いましたレクリエーションの様子を載せました。真ん中は七夕の笹で、右側は保護者の方から寄付いただいたおもちゃで遊んでいる様子です。

1枚はねてください。参加人数・登録者数は表の通りです。昨年よりもコロナ禍が収まって少し増えている状況です。

下の方に行きまして、日課です。他の放課後子ども教室と特に変わりはないかと思いますが、うちは部屋が2部屋ありますので、最初に宿題をスタディルームでみんなでやります。その後スタディルームとプレイルームに分かれて自由活動を行います。スタディルームではパズルや自由工作、プレイルームでは体を動かしたりゲームをしたりします。

次に年間の行事についてです。年間を通して、読み聞かせやレク活動などの行事、季節行事に応じた工作、さわやかプラザで年7回体を動かすゲーム集会を実施しています。

次に、子ども教室だよりについてです。原則毎月子ども教室だよりを発行し、放課後子ども教室での子どもたちの生活や活動の様子を写真とコメントで知らせ、保護者へのお願いや翌月の予定を伝えています。

次に、成果と課題ということで、かいつまんでお話させていただきます。

「学習・読書タイム」では、宿題を終える時間に個人差があり30分を超えることもあったので、時間内に終えるよう指導しています。早く宿題を終えた者には読書をさせるのですが、本に興味を持ってもらいたいのので、「今月のおすすめの本」のコーナーを設けています。ただ、なかなか読書できない子、あるいは1人で集中できなかったりする子も少なからずいるので、そういったことで指導の難しさを感じることもあります。

工作は子どもたちが大変興味を持って参加し、満足感・達成感を与えています。

補助員の方たちには、指導にあたって多くの面で支えていただいております、勤務時間外に準備・作業などを自発的にしていただいていることもあるので、是非とも待遇改善をお願いしたいと思います。

読み聞かせや工作、レクリエーション活動などで、ボランティアの方にお世話になっています。今年度は、清須けん玉サークルの方にけん玉の指導をお願いしたり、或いは個人ボランティアの方にマジックをお願いして、イベントでやっていただいたりしました。

それから先ほどこちとお話しましたが、遊び道具や本などに古くなったものや破損しているものがあります。今年度はお便りを配布する際に遊び道具や本の寄付を呼びかけて、協力していただきました。

最後に要望ということで、去年も出させていたんですが、カーペットの汚れがありますので、清潔な環境で学習や活動ができるようにしていただきたいと思っております。

それから2番目に、予算が限られてることはわかりますけども、ぜひ安全な環境づくりのためにも予算の増額をお願いしたいと思っております。

それから最後ですが、災害時の避難方法であるとか、障害児童への対応、或いは今日の教育課題などについて研修する機会をぜひ指導員または補助員に与えていただきたいと思っております。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。要望のところでカーペットのクリーニングの話が出ましたが、来年度予算にカーペットのクリーニングの予算を各教室計上しております。ただまだ3月議会が終わっておりませんので、計上しておりますということだけ伝えさせていただきます。この会が終わった後に少し予算の説明も指導員の方にさせていただきたいと思っておりますので、是非よろしくお願いします。

本日お越しいただきました西枇杷島放課後子ども教室の保護者の代表竹島様、ご利用いただいているところでの感想やご意見などをお願いします。

竹島委員

おはようございます。西枇杷島放課後子ども教室の保護者代表の竹島です。私は3年生の子どもがおりまして、毎日のように放課後子ども教室に通わせています。月に1度のさわやかプラザでのレクリエーションや、週1回の読み聞かせ、工作をとても楽しんでおります。またカーペットの清掃も、ハウスダストのアレルギーのある子もいると思いますので、やっていただけるとありがたいと思います。今後ともよろしく願います。以上です。

瀬尾課長

ただいま、月に1度のレクリエーションを楽しみにしているという声が上がりました。先生方、本当にありがとうございました
続きまして、古城放課後子ども教室伊藤先生お願いします。

伊藤指導員

失礼いたします。古城小学校の放課後子ども教室伊藤でございます。
資料に沿って説明させていただきます。
まず登録者数ですけれども、全体で114人になります。
参加者数は、1学期は30人前後でしたが、現在は20人前後です。それから今年度の特徴ですけれども、3年生の参加者が非常に多くて、全体の半分が3年生という状況になっております。
次に子どもたちの1日の様子ですけれども、西枇杷島小学校と同じような流れとなっております。
懇談会のときなど下校時間が早い日は、参加人数が大体50人前後となっております。工作をやったりゲームをしたり、或いはボランティア団体による読み聞かせなどを行っております。4ページにはその様子を載せさせていただいております。
5ページです。古城小学校では春夏秋冬それぞれの季節にスタッフが壁面工作を作成し、子どもたちも規模の大きな工作に参加しています。スタッフや子どもたちの作品を載せさせていただきました。
6ページの成果と課題ということで、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行もありましたが、そういう中で、子どもたちは1年間、けがをすることなく安全に生活することができました。
参加者は例年増加傾向にあるんですけれども、教室が1つしかなくて、非常に密になっております。昨年度も教育委員会にお願いをさせていただきましたが、学校の方にもお願いをして、教室の隣の倉庫の一部を借用し、勉強部屋として使用しました。この倉庫にカーペットを敷く、エアコンを設置するなど、放課後子ども教室用に改装していただきたいと思います。西枇杷島小学校のように、スタディルーム、プレイルームに分けることができたらなと思いました。
それから、読み聞かせグループ「ぱぴぷぺぽ」、「きよすのトンボおじさん」などの外部講師を招きました。今後とも外部講師の活用を積極的に進めていきたいと思います。
今後とも学校と保護者と連携しながら、安心・安全な放課後子ども教室にしていきたいと思います。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

古城放課後子ども教室の保護者の代表大谷様、ご感想やご意見などをお願いします。

古賀委員

古城小学校放課後子ども教室大谷と申します。よろしくお願いします。放課後子ども教室は、6年生の長男が1年生のときから3年間利用しており、今1年生の次男が利用しております。放課後子ども教室では、子どもたちが作品づくりを行っており、どの作品も個性にあふれていて、子どもの成長を感じられるものでもあります。また宿題をやる時間がありますけれども、スタッフの方にしっかり見ていただいているので、親としても大変助かっております。また要望といたしまして、参加人数が多く教室が狭いということで、倉庫を使用しているとお話がありましたけれども、そこにカーペットやエアコンを設置していただけるとありがたいと思います。また、放課後子ども教室を6年生まで拡充していただけるとありがたいです。部屋の確保など大変かと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。カーペットは、来年度予算に計上しております。エアコンの方はもうしばらくお待ちください。こちらの方も検討させていただきます。

続きまして、清洲放課後子ども教室太田先生をお願いします。

太田指導員

清洲放課後子ども教室の太田でございます。よろしくお願いいたします。

表紙の写真は、10月工作のハロウィンハットです。工作の時間は子どもたちが本当に楽しみにしておりまして、大変人気のイベントとなっております。

清洲放課後子ども教室には3つのねらいがあります。1つ目が宿題や学習のできる場をつくり、学習の意欲を高めること、2つ目は「自由な遊び」を通して、自分で考え行動する力を伸ばすこと、3つ目は異学年の子との交流によって社会性や協調性を養うことです。

2ページ目をご覧ください。昨年の4月から、1年生が従来はゴールデンウィークが明けてから参加していたんですが、4月17日に利用が始まりました。1年生は1時に来室します。多い日には1年生だけで、この4月は69人も来ました。1年生が来るようになって、1週目2週目はもう連日110何人という子供たちが1時からきますので、毎日が

個人懇談会の日のような状況で、正直、まさかここまで人数が増えるとは思っていなかったし、それから人員の増員を考えていませんでしたので、非常に大変だったなという印象があります。

4月は1日平均104名。そこに書いてありますが、1月になると、ようやく少なくなって参ります。それでも毎日65名。年間の平均はこの1月までで83名、前年比プラス5ということで、11月12月1月のこの前年比マイナス2というのは、コロナだとかインフルエンザで学級閉鎖があつて、それで減っているというだけのことで、相変わらずすごい参加人数です。

その下を見ていただきますと、個人懇談会の日である1学期の7月12日に138名も来ました。正直言って、先ほど、指導員と支援員の人数を増やしているというお話があつたんですが、現状月火水が7人、木曜日が8人、金曜日が9人でやっております。この個人懇談会の日に人数を増やせるかという、支援員の先生方はもう目いっぱい働いていただいていますので、この個人懇談会で、何人増やせるかって言ったら1名しか増やせないです。それで138人の対応っていうのは、正直言ってスペースの問題もありますし、それから支援員の人数を増やそうにも増やせないという現状があつて、大変苦慮しているのが実情です。

3ページ目をご覧ください。活動の状況はほぼ変わりません。学習の時間の様子が載っていますが、こんな密の状態です。長机に3人座って、漢字ドリルや計算ドリルを置いてノートを置いて筆箱置いて、ていうと、もう1年生なんかは、私の何々がなくなったとか友達のものを持って帰ってしまったということが、特に4月当初はありました。

それから4ページ目をご覧ください。現在は、「子どもは学校へ行って当たり前」という時代ではもうありませんよね。不登校の小中学生の数が34万6480人と、またも過去最多を更新したという意味からも、大変現在は子育ての難しい時代だと思います。

そんな中で、放課後子ども教室の役割は、自宅や学校だけではなく、保護者が仕事をしている間、子どもたちを安心して預けられる場所であり、子供たちが元気に賢く育つ「第3の居場所」だと思っています。そこで学習の時間が終われば、子供たちが楽しい時を過ごし、しっかり遊べるように、自由な遊びの時間を多くしています。異年齢集団の遊びは、子どもたちにとってはすごく「魅力的な場所」です。もちろんいいことばかりではなく、うまくいかないことや友達とのトラブルは毎日あります。でも子どもたちにとっては、それもドキドキ、ハラハラ、ワクワク、ときにはズキンズキン、今までにない多様な経験をする場でもあります。

間違ったり失敗したり、友達に負けた悔しさや自分の無力さを上手に受けとめて立ち直る経験が必要です。また、必要なときには友達と協力したり、助けを求めたりできるように、うまく付き合う方法を生活の中で経験し、学んで欲しいと思います。そうすることで、子どもたちは日々試行錯誤しながら社会性を少しずつ身につけていくものだと思います。私たち指導員は、「明日も来ようかな」「来たいな」と子どもたちが思ってくれるような第3の居場所としての放課後子ども教室をこれからも目指していきます。

5ページ目をご覧ください。課題としましては、1学期懇談会のときには、もう本当に暑い中、1年生は学習を後にし先に体育館で遊ばせました。2・3年生は学習を済ませてから交代で教室を利用しました。真夏の暑い時間帯ではありましたが、体育館ではエアコンが使えたので大変助かりました。

ただ、ランドセルを入れるロッカーや学習机も足りない状況です。ですから、確かに親御さんの要望もわかるし、教育委員会としても制限をするというのはなかなか難しいかもしれませんが、現状では、本当にランドセルを入れるところがなくて、3年生は廊下の踊り場にランドセルを置いてくださいとお願いをしなければいけない状況です。

それから児童の参加人数に応じて指導員・支援員の人数を増やしていただきたいと思います。当初に比べればすごく配慮をいただいております。でも先ほど申し上げましたように、懇談会のときには増やせる支援員がいないという状況です。

それから、保護者から4年生から6年生も放課後子ども教室を利用できるようにして欲しいという要望はもうずっと前からあります。

写真は、指導員の先生による大型紙芝居です。これは毎週火曜日行っています。工作は月1回です。

6ページをご覧ください。放課後児童クラブとの一体化・連携は、1月21日に児童館とドッジボール大会を行っております。

以上です。よろしくお願いいたします。

瀬尾課長

ありがとうございました。

清洲放課後子ども教室の保護者の代表後藤様、ご感想やご意見などをお願いします。

後藤委員

清洲放課後子ども教室の保護者代表の後藤です。よろしくお願いいたします。

近所に住んでいる孫娘が1年生の時から利用しておりまして、迎えに行くと「もう迎えに来たの。まだ来なくていいよ。」と言われるくらい楽しく通わせていただいております。

また、外遊びの時間をたくさん設けていただいたので、その時間にできなかった逆上がりをできるようになるなど、親でも教えられないようなことをたくさん教えていただきました。

また勉強の面でも、どこがわからないのかというところを先生方がわかってくださっていて、それをご指導いただいているところを目にしたことがあったので、本当にありがたいなと思っておりまして、孫娘の母にあたる私の娘と一緒に行ってよかったねと言っておりました。

あと孫に聞いたところ工作をととても楽しみにしているようで、それをもう少し増やしていただけたら楽しいかもしれません。2年生になってからは学年が下の子が入ってきて、その子たちと接することができるのがすごく楽しみだそうです。うちの子が一人っ子でもあるんですけれども、一緒に来た方の兄弟などとも会話したりして、とても楽しく過ごさせていただいております。今3年生ですけれども、学校の宿題を放課後子ども教室でみんなで作るのが楽しいと言っておりました。

私たちはそういう学習面だけではなくて、3年生になっていろんな人々と関わり、家に帰ってからだけでは経験できないようないろんな方たちと接することができるのがいいなと思っております。あとやっぱり皆さん感じていらっしゃると思うんですけれども、うちの子ももっと行きたいなというので、是非これからはお世話になれたらいいなと思っております。最初に先生方にあげていただいた3つのねらいの内容はきちんと子どもたちにも伝わっていると思います。ありがとうございます。

瀬尾課長

ありがとうございました。先生方の外遊びとか勉強の面でのきめ細やかな指導を本当にありがとうございます。今、異学年との交流が放課後子ども教室できているということで、非常に素晴らしいことだなと思って聞いておりました。ありがとうございました。

続きまして、清洲東放課後子ども教室加藤先生お願いします。

加藤指導員

こんにちは。清洲東放課後子ども教室の加藤と申します。

まず最初の表紙の写真をご覧ください。これは児童クラブとの交流会の写真で、児童クラブさんと打ち合わせをしまして、トルネードリング作りを行いました。すごくたくさん飛ぶ子もいるので、みんな喜んでや

っていました。参加者は、児童クラブさんの方が40人ぐらい、うちが30人ぐらいということで、合計70数人でやっております。

1枚はねてください。子どもたちが行きたいと思える学びの場、そして子どもたちが工作や運動などで自分の力を生かしたいと思えるふれあいの場というのが僕たちのねらいです。指導体制としては、今年は4人体制でやっております。当初もっと来る予定だったんですけども、駐車場の関係でいろいろと問題もありまして、駐車場は使えませんということ徹底したところ、十人の子供たちがすぐ道路を挟んだ向こう側の児童クラブに行きました。うちは大体平均30人ぐらいですね。1月はやっぱりインフルエンザとかでかなり減りまして、20人ぐらいのときもありました。1年平均して、そこに書いてあるように、29.4人というのがうちの人数です。

1枚おめくりいただいて、活動状況ですけども、最初に担当者で打ち合わせを行いまして、そのあとで月曜日と木曜日は読書タイムということで、15分間静かに本を読ませたいということで、たくさんの本を買わせていただいているので、それを読んでおります。火曜日はDVD話ということで、日本昔話を見せて、思ったことを自由に発表させています。月曜日に工作タイムってありますけども、実際には毎日が工作タイムで、宿題が終わった子たちは、多くの子は工作を作ります。寄付のご協力もいただいて、たくさん箱とかいろんなものがありますので、それでみんなすごい工作を作り、当初それを放課後子ども教室に置いたんですけども、そうすると、工作の山になってしまうんです。途中で崩れたら大変なので、作った作品は写真に撮って持って帰ることにしています。最終的に工作を頑張った子に工作大賞というのをあげているんですけども、写真判定になりますので、写真の写りが勝負になってしまっって申し訳ないなと思っています。

終わった後は自由タイムで、運動場や体育館で楽しく遊んでいますが、元気すぎて、けがもありました。

あとスタッフで男性が3名いて、自分の専門的な話をしています。理科の先生は理科の話、国語の先生は言葉の話などをしています。

1枚はねていただいて、課題としては、先ほど言いました駐車場の問題のことについて書きました。それから、今年度もコロナの対策に取り組んで参りまして、毎日消毒活動を行っております。換気の方も心がけています。

それから、反省点としてはやはりけががあったということで、こちら側も注意しております。やっぱりけがが起こるのは自由タイムの時間に

なるので、その時は、複数の担当者で見ていくということを心がけています。

1枚おめくりいただいて、今月号の放課後子ども教室だよりになります。写真は子どもたちが作った工作です。それから、今年からちょっと私の趣味みたいなもので、放課後川柳というものをやっております、お母さんたちからも、スタッフからも投稿をしてもらっています。

紹介しますと、「お迎えの 上り階段 息はずむ」「工作は プライ
スレスの 宝物」といったものです。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

清洲東放課後子ども教室の保護者の代表梶木様、ご感想やご意見などをお願いします。

梶木委員

清洲東放課後子ども教室でお世話になっております、梶木と申します。息子が小学校1年生で、利用できるようになってからすぐ始めさせていただいて、ほぼ毎日通わせていただいております。放課後子ども教室では工作やドッジボール、それから息子の大好きな将棋などを含めて、子どもの楽しめる遊びや企画などを行っていただいて、息子にとっても楽しめるうれしい場となっております。

また先生方は、子どもに対して日々の関わりの中での成長の様子について、「力が強くなったね。」ですとか、「友達との関わり方が良くなった」など、お迎えの際にもこと細やかにお伝えいただいて、大変ありがたく思っております。下の子が今、保育園の年少なんですけれども、また小学校に上がったら利用させたいと思っていますし、是非続けていていただきたいと思います。いつもありがとうございます。

瀬尾課長

ありがとうございました。

毎日楽しめるうれしい場所、そんな場所に放課後子ども教室がなっているんだなと思ひまして、児童の方が毎日楽しめる嬉しい場所ってというのはなかなかないと思いますので、大切にしていきたいなと思っております。

続きまして、新川放課後子ども教室の水野先生、お願いいたします。

水野指導員

よろしくお願いいたします。新川放課後子ども教室の水野です。

資料を1枚おめくりいただきまして、利用者数の一覧を入れておきま

した。登録者数は昨年度よりも、少し増えているんですが、参加者はちょっと減っています。平均が今30人前後なんですけど、前より少し減ったかなという感じです。実際は1年生が全体の半分で、残りの2・3年で半分というのが通常です。

それから、資料2ですがこれは1年生の説明会の時に保護者の皆さんに配るもので、宿題についてと、水筒についてのことを載せておきました。宿題については一応教室で見、誤りがあったら指摘して直すように言いますが、おうちの人も必ず見て、どういうものを宿題でやっているかというのを確認してもらいたいかなということです。音読やリコーダーについては、保護者の方に聞いてもらうものですから、ここではやらないとなっています。水筒の件も、ちょっと余分に持ってくださいとなっております。最近はクーラーが入って夏場はそんなに苦にならないんですけど、教室から運動場に入るとき暑さなどにも水筒がいります。時々空っぽの子が出てきますので、そういう子は補充したりするんですけど、あらかじめご家庭から多めに持ってくださいという意味です。

1枚めくっていただくと、基本の時間割として、火曜日と金曜日は同じ時間で1・2年生は先に来て、3年生は6時間授業で後からきますので、行事のない曜日になります。それから月曜日は、第3月曜日に先ほど話がありました「お話ぱびるぺら」の人に来てもらって、4人の人に、絵本3冊紙芝居1つを聞かせてもらいました。大体40分ぐらいになります。そのあとは宿題をやって自由退室という形になります。

それから、次の資料の子どもたちの活動ですが、まず基本的には静かタイムと自由タイムがありまして、静かタイムは、来てからまず最初にかばんを置いて、お手洗いとお茶を飲むのを済ませてから宿題を始めます。宿題が大体30分ぐらいです。それをした後、全体が終わったところに自由タイムということになります。特に1年生は早く終わりますので、早く終わった子のために一応プリントを用意してありまして、1学期2学期は点繋ぎプリントや間違い探しのプリントをやったりします。2・3年生はそれをやる時間があまりないです。

宿題が終わりますと自由タイムということで、最近はサッカーゲームを入れましたのでサッカーゲームで遊んだり、それからオセロとか将棋とか、レゴの組み立てなどをやったりしています。

それから、4月に自己紹介カードというのを作りました。好きな科目や好きな食べ物、最後にこの1年で頑張ることを一言、書いてもらうというのがあります。そして1年経ってからもう返却するという形で各学

年作ってあります。年度途中で新しく来た子はまたそこで作ります。

それから5月から12月の間に、「お話ばびふぺぼ」の人に、毎月第3月曜日に来てもらっています。

それから、懇談会の3日目にビンゴゲームをやって、おもちゃなどの景品を渡します。これが楽しみで来る人もいます。

木曜日の午後は一斉下校で帰りますが、体育館が空いていますのでその時間を利用してドッジボールをやります。大体3ゲームやって、4時ちょっと前に帰ってきます。この日を楽しみにしてくる子もいます。最高気温が30度を超える日はやらないようにしています。だからドッジボールをやるのは4月、5月の初めぐらいと、10月から2月までの期間です。

それから、3学期にプラ板のキーホルダーを作っています。今はもう95%以上でき上がりまして、ほとんど返しています。去年は油性ペンで描いたんですが、今年は色鉛筆で描きました。

それから今年から、児童クラブの交流会ということで、児童クラブの方から話がありまして、11月28日にドッジボールの試合を行いました。人数的にはこちらは向こうの倍ぐらいいますので、対抗しようという形はできませんので、放課後子ども教室と児童館をごちゃまぜにして、2チーム作り、3試合やりました。感想を聞いたら「またやりたい」と圧倒的な意見をもらい、3学期もと思ったのですがなかなか都合がつかず、その日のみになってしまいました。

コロナでしばらくやっていなかったのですが、ひさしぶりにやりました。また来年も、2回ぐらいやりたいなと思っています。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

新川放課後子ども教室の保護者代表松村様、ご感想やご意見などをお願いします。

松村委員

新川小学校で放課後子ども教室を利用させていただいております、松村と申します。よろしくお願いします。

現在小学校2年生の息子が通っていきまして、上のお姉ちゃんたちも小学校1年生から3年生まで通っていました。

内容につきましては、ドッジボールが好きですごく楽しみにしていて、児童館との交流会もすごく楽しんで参加していました。お姉ちゃんたちは工作が大好きで、キーホルダーなどを作るのがすごく楽しかったようです。3人とも楽しく参加させていただきました。

要望なのですが、小学校の部活動が今後なくなるので、中学校との下校時間の違いが出てくるので、4年生から6年生もできれば放課後子ども教室に参加できるようにしていただけるとありがたいと思います。

以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。皆様方から4年生から6年生まで続けて欲しいというご要望をたくさんいただいております。

続きまして星の宮放課後子ども教室大島先生お願いします。

大島指導員

星の宮放課後子ども教室の大島と申します。よろしくお願いいたします。

私どものところは、来室する子どもの数は非常に少なく、予算も一番少ないです。今年は1年生が例年の半数ぐらしか登録しなかったもので、これは大変だと思いましたが、お母さんたちに聞いてみたら、登録方法がよくわからなかったということや、或いは登録しそびれてそのままになってしまったと言っていましたので、来年からは忘れずに登録してくださいと言いました。

星の宮小の子どもたちのすごくいいところは、どの学年の子どもたちも学年に関係なく対等に話をする事だと思っています。放課後子ども教室における雰囲気は、大体夏が終わると人数の多い1年生が主導する状況だったんですが、今年は今のところまだ2年生が中心になっております。だけど中心になっているといっても、もう権利は対等ですから、2年生だけ優先して何かをするということはありません。人数は非常に少ないんですけど、登録している人は、回数は人によって違いますけれども、ほとんど全員来ています。1か月に1〜2回という子もいますけれども、それ以外の子はかなり来ていて、そういう点ではよかったなと思っています。

1枚めくってください。今年は放課後子ども教室の隣の教室が3年生の教室なので、1・2年の子どもたちが早く来て騒ぐと授業の不都合になりますので、その点はちょっとこちらの方も注意して子どもを指導しております。だから個人懇談会とか就学時健診の時は教室ではできませんので、体育館をお借りしてやっております。校長先生も非常に理解が深くて、いつでもいいから使ってくださいと言ってくださっていますので、たくさん使わせていただいております。あとそのような時には、子どももたくさん来ておりました。

それ以外は、あと月に2回か3回、体育館を使わせていただいております。3月になると卒業式の練習が始まりますから、机が並びますので使えませんけれども、そういう時には運動場を使わせていただいております。

活動の状況は今まで通り変わりません。子どもたちが来ましたら、「お帰り」と声かけをして迎えます。次にしずかタイムということで、大体30分が予定ですけども、その時に宿題、それから音読、それから九九の暗唱、計算カードの練習といったことをやります。ただ1年生は、はじめのうちはお母さんが音読を聞きたいという家庭がありますので、そのようなご家庭は連絡カードに書いていただいております。

次のページに行っていただきますと、自由タイムということで、子どもたちが自由に遊びます。なかなか予算がないものですから、保護者の方からひもやお菓子の空き箱をいただいたりしていますので、それを使って子供たちが作っております。子どもたちはだんだん工作が上手になってきて、自分の弟や妹に作ったりもしています。

それからもう1つは自由タイムに手作りコーナーをやります。これは強制ではありませんが、大抵はみんなやります。ただしあんまり皆参加しなかったなっていうのはもう次の年に別のものにしております。年間を通して、いろんなものを作ってきました。その中でも10月・11月にミサングづくりをやったんですけども、子どもが大変興味を持って、一生懸命いつまでもずっとやっておりました。それからリリアン編みなんかでも同じようなことが起きました。特にこのときは3年生がたまに来るんですけど、3年生の子が1年生に教えてもらって、3年生はやっぱちょっと手先が器用ですから、1・2年生に「こうすればもっとうまくできるよ。」と逆に教えてくれたりしています。1月の折り紙の変身キューブ作りは難しくて、数名しかできませんでしたが、来年はやり方を覚えて多分できるようになると思います。

それから体育館での遊びはここに書いてあるとおりです。今年児童館の方の園長さんからぜひ交流をやってくださいということでお誘いがあったものですから、1月16日に、体育館でドッジボールをやりました。一斉下校でそのまま体育館に入って、ドッジボールをやって、終わって児童館の皆さんが帰られた後で体育館に長机を並べて宿題もやりました。

あとは最初の個人懇談会の時に、夏祭りイベントを行いました。お母さんが迎えに来るときに、小さい子を連れてきますから、その子たちにもヨーヨーをやらせて、分け与えております。

それから運営の課題ですけど、今年1つこちらの大きなミスがありました。最初の新1年生への説明会で、「子供さんが間違えて放課後教室に来るのは全然構いません。そのときお母さんの連絡先を調べて『学校におりますから、迎えに来てください。』と連絡します。間違えて帰ってしまう子が一番心配です。」という話をしたんですが、その通りのおことがおきまして、お母さんが迎えに来て、子供がいないということで真っ青になって帰って行きました。原因としては、その子が最初1週間休んだんです。休んだ後登校するときにお母さんが放課後に行くように子どもに伝えたんですが、子どもはともその辺がよく理解できなかったと思います。それで帰って行ってしまったんです。その子が放課後に行くとなっていていれば、周りの子が放課後の子はここに並ぶということも教えてあげられたと思うのですが、周りの子もその子が放課後に行くことを知らないで、教えてあげることができませんでした。そういうことがありましたので、1年生の先生と相談して、放課後子ども教室に参加する子は、参加カードを担任に出し、給食の時間に指導員がカードを取りに行き、下校の際に人数を確認することにしました。最初からそういうふうにやればよかったんですが、その点ではちょっと私たちの対応が悪かったと反省しておりますので、また何か問題が起きたら、お母さんたちと話し合いをして、安全第一で運営していきたいと思っております。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

星の宮放課後子ども教室代表の早川様、ご感想やご意見などをお願いします。

早川委員

星の宮放課後子ども教室の保護者代表の早川です。星の宮放課後子ども教室は、今大島先生がお話してくださったとおり、とてもアットホームな人数の少ない教室になっていますので、他の教室とは雰囲気が違うのかなと思ったというのが率直な感想です。子供は今2年生の女の子で、1年生のときから通っているんですが、とにかく放課後に行くのが楽しく、放課後に絶対に行きたいと言っており、10分ぐらいお迎えが早くなると、「なぜ早く来たんだ。」と大体そう言うぐらい楽しませていただいています。宿題についても、音読とかもやっていただいているのですが、毎日違う先生に聞いていただいているので、いろんな先生にうまいって思われたっていう気持ちがとても強いので、すごく一生懸命読んでおり、楽しんで宿題をやっているような状況になっています。あと

学習についても、うちはちょっと書き取りが1年生のときとても遅くて、みんなが10分で宿題を終わらせて遊んでいても、30分とか40分かかって漢字の書き取りをやったりしていたようなんですが、そういうときもいろいろ声掛けしてくださったり、こちらにもそういうことを教えてくださって、どうやったらうまくいくかということとを本人と話し合うこともできたので、そういうふういきめ細やかに個人を見ていただいているので、とても安心して、楽しんで活動に参加させていただいています。あと、月に2回ほどの体育館での遊びがすごく楽しいようで、汗だくになりながらみんな一緒になって遊んでいます。子供だけじゃなくて、指導員の先生方も一緒になって体育館遊びをしていただいております、楽しい空間になっているようです。今後もそういう場所を作っていただけるとありがたいなと思っています。以上です。

瀬尾課長

先生のきめ細やかな指導ということをほめていただきましてありがとうございました。

続きまして桃栄放課後子ども教室、吉田先生お願いします。

吉田指導員

桃栄放課後子ども教室の吉田です。よろしくお願いします。

それでは資料に基づいてお話をさせていただきます。

1ページをご覧ください。まず登録者数ですが、昨年より20名ほど、割合にして16%ほど少なくなっています。先ほどから聞いていると他の放課後子ども教室はどんどん増えているんですが、うちの方はだんだん減少しているのが事実です。

参加者数ですが、4月から12月の1日当たりの平均参加者数は約12人で、昨年に比べて3、4人減っているかなと私は思います。

目当てですが、「笑顔で来室し、笑顔で帰る」これだけのものです。ただ、放課後子ども教室は先ほどから皆さんが言っているように、安全安心な居場所で、自主的な学習や或いはスポーツや文化活動などの場所や機会を提供するというものですので、私たちもそうやって考えて活動していきます。そのために、安全面の見守りや、学習や遊びでの支援、それから感染防止などの活動を続けています。そんな中で、子供たちが充実した時間を過ごして、笑顔で帰ることを目標にやっております。

それでは2ページを見てください。1日の活動の状況ですが、これはどこも多分同じだと思います。入室に始まって、出席確認から健康観察などを終えて学習に入ります。うちの場合は基本的には1年生に20分、2年生が25分、3年生は25～30分とっております。学習はまず、

宿題をやって、そのあと終わった者はプリントをやったり本を読んだりしております。その後、トイレ休憩に入って子供たちが楽しみにしている自由活動に入ります。自由時間の一つ目の過ごし方としては、折り紙、工作、それから読書なんかがあります。季節に応じて鯉のぼりを作ったり、七夕飾りを作ったり、ハロウィンの作品を作ったり、クリスマスリースを作ったりなどしており、これについては、参加者は全員やることになっております。

3 ページを見てください。自由時間の2つ目の過ごし方としては、ゲームなどです。その状況ですが、一部写真で載せておきましたので、ご覧ください。他の教室と同じように楽しそうに遊んでいます。

それから、そういったものが終わりにかけて5時に近くなると、退出する時間になります。お迎えに見えた保護者に出席カードを返却し、見送りをします。もし何か活動中にあった場合については、必要に応じて保護者の方に連絡させていただくというふうにしております。1日の活動の状況については以上です。

続いて4ページをご覧ください。特別日、要は1・2学期の個人懇談会の日の様子についてです。この日は時間も長くなりますので、普段の活動の前に体育館で過ごしたり、それからビデオを利用したりします。この日だけは必ず体育館が空いていますから、そこを利用してやっています。本当は普段からもっとたくさん使えたら、子どもはたくさん来るのではないかと考えております。

ただ、うちは自由な運動とかそういったものを普段はさせることができませんので、そういった面は子供がある程度教室に慣れてきたら、満足できずに外で遊びたいという方向に行くのかなという思いをしております。写真の方ですが、その時の様子を一部載せさせていただきました。

5 ページ、成果と課題です。

1つ目としてはやはり本当に多くの皆様の協力・ご支援によって順調に運営をさせていただきました。また子供たちも、教室のルールを守って、特に問題もなく大禍なく過ごしてきたと思います。

2つ目ですが、児童数や、登録者数の減少から平均参加者数は大幅に少なくなりました。しかし目標である笑顔で来室し笑顔で帰るという部分については、とりあえず来ている子たちについては、普段の自由時間の過ごし方とか或いは作品の作り方を見ていると少なからず達成はできているのかなあと考えております。

それから昨年、3つ目として、備品の関係でここをお願いした部分があるのですが、市教委の方のご尽力によって、今年度買い換えていただ

きました。また先日から急に調子が悪くなったコピー・印刷機があったんですが、これについても本当に素早い対応をしていただき、ありがとうございます。

それから4つ目の感染予防の面については、今年度も手指消毒や除菌での清掃など、スタッフには随分努力していただきました。感染予防には今後も努めていきたいというふうに思います。

それからここには実は書いてないのですが、うちも実は1月に1年生だけです、うちの1年生と児童館の1年生が交流をしまして、うちが7名、児童館の方が17名、うちの教室でトランプゲームなんかをやりました。児童館の先生に本当に尽力いただいて、1時間程度ですが、交流をすることができました。

今後については来年以降、児童館の先生との相談になってくるかと思うのですが、場合によっては2年・3年も入るかもしれませんし、何しろ1年だけでも20人以上いましたから、2・3年を入れて50人とか60人とか、そのぐらいの規模まで持っていければやる可能性もあるかなと思っております。

今後とも安全安心な居場所で子供たちが充実した時間を過ごせるように、私どもも努力したいと思っております。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。 桃栄放課後子ども教室の保護者の代表の蟹江様、ご感想やご意見などをお願いします。

蟹江委員

桃栄放課後子ども教室の保護者代表の蟹江です。今3年生の娘が利用してまして、上にも兄がいて、計6年お世話になっております。毎年おひな様や七夕のイベントごとに作品を作って自宅に持って帰って来てくれるので、それを私は毎回楽しみにしております。宿題も、娘は必ずその時間内に終わらせて帰ってきてくれるので、私からしたらとても助かっています。教室の雰囲気もとても良くて、先生方が一人一人子供をきちんと見てくださっているのも感じています。お迎えに行くと、今日はこんな感じで過ごしたよっていうのを必ず報告してくださるので、こんなふうに遊んでいたんだなっていうのも知ることができるので助かっております。

利用して6年になっているので、先生方とのコミュニケーションもとれてはいますけども、本当に親しみやすい先生方ばかりで、6年生の息子も、自分も通えていたらまだ通いたかったっていうぐらい、もう本当に子供の集まる場所としてはとてもいい場所だなとは思っております。

なのでできればやっぱり3年生までではなく、長い間見ていただけるととてもありがたいなと思います。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。蟹江様からも、放課後子ども教室を6年生まで続けてもらえないかという要望をいただきました。続きまして、春日放課後子ども教室の白鳥先生、お願いします。

白鳥指導員

春日放課後子ども教室の白鳥です。資料に沿って説明させていただきます。

1、指導体制。指導員が6名、全員女性です。基本的には4～5名で行っております。イベントの日は6名体制です。

2、月別来室者数。本年の登録者数は昨年度より23名増え、175名でした。ここ数年春日小学校に通う子供の数も増えていますので、それに伴って毎年登録者数も増えている状況です。来室者数も昨年に比べて増えています。平均すると春日は65名ぐらい来ています。教室が1室しかないのですが、体育館の上に教室がありますので、大体毎日体育館に行くか外へ行くかで、この人数を何とか対応できているという状況です。今年度は3年生の参加が例年よりも多かったので、増えたのかなと思われます。3年生は、放課後教室で遊ぶのを毎日楽しみにしてきてくれる子が多く、例年は家へ帰って遊びたいという子が多いんですが、今年は本当にたくさんの3年生が参加してくれて、放課後子ども教室は1・2年生も多いので、よく面倒を見てくれて助かっています。今の感触でいくと来年度も3年生の参加がさらに増えるかなと感じていますので、教室だけで対応するのがちょっと大変だなと思いますが、学校側に相談して教室など借りるなどして対応していこうかなと考えております。

3、活動状況。他の放課後さんとほとんど変わりません。宿題をやってから自由遊びに移るという感じで行っております。私たち指導員が、家庭的な雰囲気でありながら、なかなか家庭では経験できない様々な交流活動や体験を提供できる遊び場づくりを目指して日々努めています。また、保護者の方々にもお子さんの様子を自由に気楽に見ていただいたり、一緒に参加して遊んだりしてもらえるように、声かけや雰囲気づくりも大切にして活動しております。

4、月別活動内容。4月、カードゲーム・ボードゲーム体験、1年生ウェルカムパーティー、マルバツクイズ大会。1年生が今年度は4月から参加しましたので、1年生向けのイベントを多く行いました。一つは

カードゲームやボードゲーム体験会です。放課後教室のおもちゃやカードゲームなどの説明をして、みんなで遊んでみようという会なんですけど、これをやると、その遊びの内容を覚えてくれて、先生これどうやって遊ぶの、という質問がすごく減って、自分たちがちょっと助かるので、最初に放課後教室の遊具やカードとかをどう遊ぶかっていう会を開いて説明するようにしています。

5月、ウッドビーズで作るキーホルダー、6月、マーブリングを楽しむ、7月、プラ板、チャンバラ鬼ごっこ、スライムを作ろう、9月、毛糸のコースターづくり、10月、ハロウィン三日月リースづくり、プラ板、11月、木の実で自由工作、12月、全員参加ゲーム大会、NEW体育館遊び体験、トイレットペーパーの芯で作る冬のオーナメント、1月、億万長者ゲーム、できること発表会を行いました。2月はハートのオーナメントを刺繍してみよう、お雛様づくり、割り箸鉄砲づくり、3月はお別れ会を予定しています。

毎月こういったイベントを一、二回やるようにしています。7月、12月の個人懇談会の日には100人を超えてしまうので、学年別でやるようなものが多くなってしまいましたが、全員一緒にやれるイベントも大切にしていこうという指導員の考えもあるので、今年はチャンバラ鬼ごっこをしました。表紙に載っている写真がチャンバラ鬼ごっこの様子です。腕に小さいボールをつけて、傘袋を膨らませてそれを剣にして落とし合うという遊びです。あとはジェスチャーゲームや、巨大オセロゲームなどみんなでやれるものをいろいろ工夫して行いました。100人全員で行うと危ないなと思うようなこともありますけど、安全に気をつけて、待ち時間が増えず活動量がしっかり確保できるようなイベントを考えて、これからもやっていきたいと思います。表の右側には毎日行っている自由工作遊びの内容を載せさせていただきました。あと写真は、子供たちの日々の様子やイベントの様子を載せさせていただきましたので、ご覧ください。

5、成果と課題。毎年けがに関して課題は残りますが、今年度は特にドッジボールを行っている中でけがが多く発生してしまいました。ボールを受け損ない、指を強くついての骨折、ボールを追いかけている際に転倒して手首をひねり骨折、顔や耳などにボールがぶつかりアイシングをする、他にも転んですりむくなど小さなけがも多くありました。毎日ドッジボールをしている状況なので、けがが多くなるのは仕方ないかなって言うてはいけませんがちょっと多くなってしまうという状況です。今後ボールをやわらかいものにするとか、あまりヒートアップしす

ぎないように、ボールを投げたり受けたりするチャンスがみんなにまわるようなルールを工夫していくなど、安全に取り組んでいけるようにしていきたいと思っております。

次に、児童クラブとの一体化連携の実施回数なんですけど、一度9月に春日児童館の1年生と体育館で一緒に遊ぶ試みをしました。遊び自体は普段の放課後教室での遊び内容と変わらず、何か大会とかを一緒にやろうっていうのではなく、体育館の中でドッジボールをやっている子、フラフープを使って遊ぶ子、バドミントンする子など、自由に遊ぶ会にしました。遊び自体は普段と変わらなかったんですが、いつもと違う友達と遊べてとても楽しんでいたように思います。しかし、一度しか行わなかったのもので、こういった交流をどうしたら増やしていけるかを児童館の方と一緒に考えていきたいと思っております。

また、スイスの家族が放課後に遊びに来てくださり、一緒にドッジボールをしたり、スイスの遊びを教わったりしました。ジェスチャーでルールを伝えたり、楽しい、悔しい気持ちをいつもより体を使ってオーバーに表現したりしている子供たちが多く見られ、良い経験になりました。

また、今年度は外部指導員の方をお招きしてのイベントを行いませんでしたので、来年度はぜひお招きして子供たちに新しい体験をしてもらえるようにしていけたらなと考えております。

4、日々の遊びやイベントの中でお友達間でのトラブルが絶えません。

勝負のときの相手への思いやりやチームでの協力、友達を傷つけない言葉選びなど、学んでいって欲しいことはたくさんあります。トラブルの都度、子供たちと一緒に考え、しっかり話していきたいと思っております。

5、本年度も、保護者の方からたくさんのご寄附をいただきました。スタッキングカップ、パズル、布、おもちゃ、ボールなど、皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

来年度も、安全に活動を行い、楽しい放課後子ども教室を目指していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします

瀬尾課長

ありがとうございました。

春日放課後子ども教室の保護者の代表 黒柳様、ご感想やご意見などをお願いします。

黒柳委員

春日放課後子ども教室保護者代表の黒柳です。よろしくお願いします。今、小学校1年生の子と3年生の男の子2人を通していただいております。

ます。用事がなければ、ほぼ毎日通わせていただいております。上の子が特に毎日のドッジボールをととても楽しみにしていて、体育館が使えなくてドッジボールができなかった日は、がっかりしているくらいです。行事の際も、先生方は本当にいろいろイベントを考えてくださって、想像しているよりもっと豪華な作品を持ち帰ってきて、驚いているばかりです。春日地区は特に家が今たくさん建っていて子供がすごく増えております。そんな中で、子供が安心して広々と遊べる公園が少ないので、放課後子ども教室で校庭や体育館を使わせていただいて元気よく体を動かせるのは、とても助かっております。1年生の子は2年生の子からボールの投げ方を教わってきたりと、他学年との交流もあるので、とてもいい場だなと思っております。3年生の子に今日放課後の会議に出席すると伝えたら、4～6年生も放課後を利用できるように言ってきてと言われているので、検討していただきたいです。以上です。

瀬尾課長

黒柳様のお子様からも4年生以降も利用できるようご要望がありました。ありがとうございました。

小学校の代表として、清洲小学校の山本校長先生から、学校の立場からのご意見などいただけますでしょうか。

山本校長

清洲小学校長の山本です。小学校長の代表として参加させていただきます。よろしくお願いいたします。

まず、最初にお礼です。清洲小学校の子どもたちが、本当にお世話になっております。ありがとうございます。清洲小学校では、100人以上の子どもたちが清洲放課後子ども教室に通っております。子どもたちは、本当に笑顔で楽しそうに行っております。その理由は、放課後子ども教室が企画しているたくさんのイベントや異学年との交流などをとても楽しみにしているからだと思います。もし何か学校の方で協力できることがありましたら、ご相談にのれたらなと思っております。これからも学校と放課後子ども教室が協力しあって一緒に運営をしていけたらなと思っております。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。

次に児童保育課、山田主査より何か意見等ありましたらお願いします。

山田主査

児童保育課の山田と申します。よろしくお願いします。

児童保育課で児童館・放課後児童クラブの方を担当させていただいて

おりまして、放課後子ども教室の先生には常日頃からいろいろ協力していただいておりますので、本当にありがとうございます。また春休みになりますと、4月頭とかすごい人数がまた児童館の方に来ますので、また引き続きちょっと応援の方をよろしく願いいたします。

また春休みが終わった後の1年生の受け入れの方を早めていただきまして、いろいろご苦勞されている部分もあるということはお話を聞かせていただいておりますが、こちらとしても、児童クラブの利用人数が上がる期間を少なくできるというところもありまして、本当に感謝しております。ありがとうございます。

今回いろいろ話を聞かせていただきまして、すごい保護者さんと子ども教室さんの先生たちの信頼関係ができているなと思いました。やはりお迎えのときの保護者への声かけをしっかりと意識しておられるのかなあというところで、すごくいいなと思いました。また児童館の方にもどんな活動をされているのかっていうところを共有させていただいて、児童クラブの方の活動であったり、あと今後の交流のところに生かしていけたらなと思いますので、また引き続きご協力よろしくお願いします。

また児童クラブと放課後子ども教室の連携の話ですけども、もうほとんどお話いただいているかと思いますが、こちらの方で把握している限りですと、西枇杷島さんと古城さんのところはやれていないんですが、それ以外どこでも年1回は今年度はやらせていただいているという状況ということで話は聞いておりまして、前年度、この場でいろいろ話を聞かせていただいて、体育館で遊べるのが羨ましいなんて僕の方が個人的に思いましたので、児童館の先生たちにも、学校教育課の方もいいって言ってくれているから、話に行って一緒に体育館で遊べるようにしたらどうですか、ということでちょっと声かけさせていただいて、協力いただいてっていうところで実現はしたのかなというふうに思っております。

あと桃栄と星の宮につきましては児童館との距離が遠いということもあってなかなか制約があるというところがありますが、児童館に行く前に交流してから児童館に帰るっていうような形をとらせていただくことによって、実現しているという状況でございます。

いろんな子からやっぱり体育館で遊べるのがすごく楽しいという声がありますし、あとやっぱり児童館の中だけだと同じようなことが起きてもけんかまで発展してしまうことも、伸び伸びと遊べる体育館の方だとけんかまで行かずにすんなり終われたりとかっていうことがあったりして、子供の心の面からしてものびのび体育館で遊べるってのはやっぱりいいことなんだなっていうのは、話を聞いていてすごく思いましたので、

数をどんどん増やしていけたらなとこちらも思っております。また児童館の方から直接お話させていただくことがあるかと思しますので、その際は、快くご検討いただければなと思しますので、よろしくお願いいたします。以上です。

瀬尾課長

ありがとうございました。それでは、議題（２）令和７年度清須市放課後子ども教室について事務局から説明させていただきます。

伊藤主事

学校教育課の伊藤です。令和７年度放課後子ども教室について説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

現在実施しています８ヶ所の放課後子ども教室は、令和７年度も引き続き今年度と同様の体制で進めてまいります。

令和７年度の新１年生の利用開始日は、給食開始日の４月１８日【金曜日】からです。また新１年生向けの利用申請の募集案内は、３月上旬に保育園等を通じて保護者の方に配布を予定しています。申請方法は、今年度と同様に「清須市電子申請・届出システム」から利用申請の登録をしてもらいます。この電子申請・届出システムは、市への申請・届出等の行政手続きを、インターネットを利用して行うシステムです。電子申請が困難な保護者の方は、学校教育課窓口で申請してもらいます。新１年生向けの利用説明会は、４月１１日【金曜日】から４月１６日【水曜日】の間の午前１０時～１１時に、各教室ごとで保護者の方を対象に実施します。参加できない保護者の方に対しては、学校教育課窓口で職員が説明いたします。

次に、新２・３年生の利用開始日は、４月１０日【木曜日】からです。募集案内は、３月上旬に学校を通じて保護者の方に配布予定です。申請方法は、新１年生と同様です。

続きまして、児童館で実施している放課後児童クラブとの連携についてです。文部科学省・こども家庭庁より多様な居場所づくりの推進が示されておりますので、令和７年度も放課後児童クラブとの連携により、全てのこどもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動が行える居場所づくりの推進に努めていきたいと考えています。指導員の皆様におかれましては、この趣旨をご理解いただき、令和７年度も放課後児童クラブとの連携について、引き続きよろしくお願いいたします。

続きまして、備品及び施設整備について説明をします。

今年度各放課後子ども教室を巡回し、ヒアリングを実施いたしました。各教室の指導員の方々からご要望をいただいた件につきましては、寄付

金の活用なども含め改善できるよう実施・検討中でございます。

今後とも引き続き子どもたちの安全を第一にご指導よろしくお願い致します。

以上でございます。

瀬尾課長

只今、担当より令和7年度からの清須市放課後子ども教室について説明をさせていただきました。

それでは、議題(3)のその他について事務局から説明をさせていただきます。

嶋中係長

学校教育課の嶋中と申します。小学校1～4年生の保護者を対象としたアンケート結果についてご報告いたします。

カラー刷りの資料をご覧ください。アンケート名、清須市放課後子ども教室の利用について。実施期間は令和6年12月18日水曜日から24日火曜日までです。保護者用連絡ツール「totoru」を利用しタブレットやパソコン端末から回答をいただきました。対象者は小学校に在籍する1年生から4年生の保護者2,662人、兄弟姉妹がいる場合は、それぞれを対象としています。回答者数は1,044名、回答率39.2%でした。

Q1 お子様は何年生ですか、の問いに対し、1年生30%、2年生28%、3年生25%、4年生17%となっております。

ページをめくっていただきまして、Q2、現在放課後子ども教室を利用していますか。の問いに対し、利用しているが52%、利用していないが48%でした。放課後子ども教室の利用対象が1年生から3年生ですので、4年生で利用している人数はゼロとなっております。この結果を踏まえまして、学年が上がるにつれて利用者数が減っており、また放課後子ども教室を利用している割合も減っていることがわかりました。このことから、今回のアンケート内におきましては、利用のニーズは、学年が低いほど高いという結果になりました。

それでは次のページ、Q3では、現在放課後利用していないと回答した方へ質問しております。過去に放課後子ども教室を利用したことがありますかと尋ねました。62%はないと回答しており、38%が過去に利用したことがありますと回答しております。現在放課後子ども教室を利用していない人でも過去に利用したことがある人は38%おり、今回のアンケートでは、現在利用している人と過去に利用したことがある人の合計の割合は、70%でした。放課後子ども教室に関わりがある方から多くのご回答をいただいた結果となっております。

ページをめくりまして、Q4、過去に利用したことがあると回答した方へ、放課後子ども教室の利用をやめた理由を教えてくださいと尋ねました。その結果、やめた理由としましては、利用時間が合わない17%、子どもが行きたがらない29%、習い事などをはじめた5%、その他の理由が49%となり、その他の理由によるものが大半でございました。推測といたしましては、ご家庭の状況やお子さんが家で宿題ができるなどの成長に応じまして、やめていかれたと推測しております。

Q5、放課後子ども教室の利用対象は1年生から3年生までですが、今後利用対象が6年生までになったら利用したいと思いますかという問いに対しては、50%が6年生まで利用したい、続いて利用する予定がない20%、4年生まで利用したい15%、3年生までで十分で12%、5年生まで利用したい3%となり、6年生まで利用したいと思っている人が多いことがわかりました。

最後にQ6といたしまして、放課後子ども教室へ望むことをお尋ねいたしました。保護者が迎えに行くまでの安全な居場所となつてほしい、友達との関わりの場となつてほしい、宿題などの学習補助をして欲しい、などの回答があり、中でも特に保護者が迎えに行く時間までの安全な居場所となつてほしい、が一番多くの回答がございました。共働きや家庭の事情により授業後の時間帯に家をあけるご家庭にとって、子供が安全に過ごせる居場所として信頼があり、要望があることがわかりました。

今回の保護者アンケートからは、先ほど指導者の先生方からのお話にありましたように、小学生の安心安全な居場所として、多くの方からニーズがあることがわかりました。また、保護者代表の方々からのご要望がありましたように、6年生までの利用についても多くのニーズがあることがわかりました。

この結果につきましては、今後の放課後子ども教室の運営の参考としていただきたいと思います。また事務局といたしましても、保護者や指導員の皆様のご意見を今後も参考に運営を行って参ります。どうぞご協力をお願い申し上げます。アンケートについてのご報告は以上となります。

瀬尾課長

只今、担当より説明をさせていただきましたが、ご意見・ご質問などはございますか。

伊藤指導員

一つよろしいでしょうか。利用者の保護者から利用者が6年生までになるのはいつかと問い合わせがあるんですけども、見通しは市として

は決まっているのでしょうか。

瀬尾課長

まだ具体的にいつからってというのは決まっておりません。ただ皆さんの要望が大きいというのは今回のアンケートでわかりましたので、できるだけ前向きに検討していきたいと思っております。

伊藤指導員

かなり実現性は高いということでしょうか。

瀬尾課長

この場ではお答えすることはできませんので、この結果をまた市長に報告して、市長のご意見も参考にして教育委員会で決めていきたいと思っております。

長時間にわたり、お疲れ様でした。以上を持ちまして令和6年度清須市放課後子ども教室運営委員会を終了させていただきます。

ありがとうございました。

以上

○閉会（時刻：午前12時00分）